

静岡型小中一貫教育の視点

- 視点1 学校の教育目標を共有している
- 視点2 9年間の連続性、系統性を強化した教育課程を編成し、実施している
- 視点3 協働・交流のある教育をする
- 視点4 地域と連携する教育をする

学校教育目標

自ら学び、共に高め合う児童生徒

【視点1】

I 基礎・基本期		II 自主・協働期		III 充実・接続期			IV 自律・躍進期		
年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3

学 習 主体的にかかわり、問題解決を図ることができる児童生徒

【メタ認知と自己調整力の育成】

【視点1.2】

- 振り返り・再構成の場の設定
 - ・言語化し、自己の変容や成長を認知する。
 - ・多様性を認め、他者の良さを認め合う場としても活用する。
- 自己調整力を高めるための定期的な小テストの実施
 - ・自己の成長を見つめられるよう段階的、計画的に実施する。
 - ・計画、実行、振り返りの活動を充実させ、自己調整スキルを高める。

【継続性のある学びについて家庭と連携】

【視点2.4】

- 9年間を見通した家庭学習
 - ・家庭での学習時間やプラスαで学習しておくよきものを示す。
- 学びの在り方についての発信
 - ・「学び」についての捉えをお便りや HP で発信する。

【GIGA スクール構想における ICT の活用】

【視点3】

- クロムブックの有効的な使用場面の共有
- 便利な活用事例などの共有

【しずおか学の選択的な内容】

【視点2】

歴史文化

軸となる取組



輝く自分づくり

【視点2】

かかわりを大切にし、自己肯定感や自己有用感を高める取組

特別支援 自分と相手を大切にできる児童生徒

【円滑な人間関係の形成】

【視点1.2】

- 自分や相手の状況をわかり、適切な距離感や言葉遣いで人との関りができる。
- ソーシャルスキルトレーニングの考え方を取り入れた学習活動の実施
 - 構成的グループエンカウンターの実施

【基礎的環境整備】

【視点2】

- 誰にとっても居心地よく、活動に集中できる学級、環境づくり
- 教室の刺激量を調整し、活動に集中できる環境を作る。
 - UD フォントを積極的に利用し、誰でも読みやすい提示を行う。

【継続性のある特別支援教育】

【視点2.3】

- 9年間を見通した特別支援学級における指導の実施

特別活動 自分で考え、自分たちでやってみようと行動できる児童生徒

【話し合い活動の充実】

【視点1.2】

- 話し合い活動の積極的な実施
 - ・児童会・委員会活動・学級活動など、様々な場面で自分事と感ずる課題について話し合う中で、合意形成を行う。
- 話し合い活動の司会進行の型の共有
 - ・主体的に話し合いに参加するための場づくり

話し合いから実践までの過程を褒めることで、自己肯定感や自己有用感を高める。



例) 各クラスでの話し合い
・何のために
・どんなことをしたい
↓
やってきたことを褒める

【自己の成長を振り返る取組】

【視点2.3】

- キャリアパスポートを活用した自己の成長の振り返り
- 各校の取組の共有(職員間)

生徒指導 自分のよさを生かして、自分や周りのために行動できる児童生徒

<生徒指導> 【児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるための職員間の取組】

【視点1.3】

- 児童生徒への支援方法や支援体制の共有
- 校則見直しについての意見交換
- 活躍の場、認める場の設定と情報交換
- 道徳の重点項目の実践と報告と共有「個性の伸長」「友情・信頼」

<学校保健> 【自己の健康管理ができる児童生徒の育成】

【視点2.3】

- ・自分の体を知る
- ・4校共通「成長の記録」
- ・健康教育構想図の作成
- ・生活習慣の確立(睡眠)・「メディアについて考える日」の実施

地域との連携

【視点4】

地域に開かれた学校

- 地域の財(人・もの・こと)を取り入れた授業実践
- 服織中学校区図工・美術作品展の開催(薬科生涯学習センター共催)
- 服織中学校区運営協議会の充実

・各校長・連合自治会長・各PTA会長・幼・保・こども園代表・薬科生涯学習センター長・健全育成会会長・推進委員

地域への協働参画

- 地域防災訓練や美化活動への小中学生の参加
- 地域の乳幼児と交流する保育実習

地域への広報活動

- 小中一貫便り「はとり」の発行

幼・保・子ども園連絡協議会

スタートカリキュラム・行事の合同開催や交流、ボランティア活動

4校(服織中・服織小・服織西小・南藁科小)の共通の児童生徒の実態

【よき】・明るく、素直で優しい

- ・友達と協力することが好きで、行事に向けてよく頑張る
- ・学習面では、作業的、体験的な活動を好む
- ・与えられた課題や仕事に取り組む
- ・毎日朝食を摂り、決まった時間に起床就寝している子どもが多い

【課題】・自己肯定感や自己有用感を高めたい

- ・学び方や学習習慣が身につけていないため、学力差が大きい
- ・かかわり合って学ぶ姿勢を育てたい
- ・読書、新聞を読む習慣が少ない
- ・身辺整理や計画的な行動など、自己管理能力を高めたい
- ・失敗を恐れず挑戦し、目標に向かって粘り強く取り組む力を育てたい

【視点3】

協働・交流

児童・生徒の交流

- 中学生による運動会ボランティア
- 児童会・生徒会 Meet 会議
- 児童会・生徒会便りの交流

児童の交流

- 3校合同「芸術鑑賞教室」
- 3校合同の6年生「心の劇場」鑑賞
- 合同社会科見学
- 合同授業

教職員の協働

- 小中一貫教育全体研修会(年3回)
- 合同授業研修会(11月)
- 公開授業週間の設定

一人職教職員の交流

- 養護教諭の情報交換
- 事務職員の情報交換
- 学校司書の情報交換